

# 第30回 まつやま中学生海外派遣レポート

~~~~ 姉妹・友好都市訪問&異文化体験 ~~~~

## ▶ 派遣事業概要 ◀

(財)松山国際交流協会では、毎年夏休み中に「まつやま中学生海外派遣」を実施しています。

この派遣は、松山市の姉妹・友好都市での交流や体験学習、ホームステイなど、文化や言葉の違う人達との交流を通して、いろいろな価値観があることを学び、広い視野を持って物事を見ることができる国際性豊かな人材の育成を目的としています。

昨年度に「中学生チャレンジプロジェクト」(※1)へ登録し、一年を通じて国際交流活動に参加した中学生を対象に派遣生の募集を行いました。その中から選考された45名が、4回の事前研修の後、アメリカ班、ドイツ班、韓国班に分かれ派遣されました。この派遣を通して学んだこと、心に残ったことなどをレポートにまとめました。

※1「中学生チャレンジプロジェクト」の詳細は8ページをご覧ください。

## 事前研修

派遣先の文化やライフスタイルを理解するとともに、自分たちの国や街のことを再確認し、ホームステイ先でもきちんと紹介できるよう、出発までの間、4回にわたり事前研修を行いました。



|                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 6月24日(日)            | 3班事前研修会            |
| 7月1日(日)             | 3班事前研修会            |
| 7月8日(日)             | アメリカ班・ドイツ班事前研修会    |
| 7月15日(日)            | 結団式・壮行会<br>3班事前研修会 |
| 7月20日(金)            | ドイツ班出発             |
| 7月24日(火)            | アメリカ班出発            |
| 7月25日(水)            | 韓国班事前研修            |
| 7月27日(金)            | 韓国班出発              |
| 7月31日(火)            | ドイツ班・韓国班帰国         |
| 8月3日(金)             | アメリカ班帰国            |
| 8月3日(金)~<br>8月7日(火) | 韓国班受入              |
| 8月中旬                | 事後研修               |
| 8月18日(土)            | 報告会                |



## 報告会

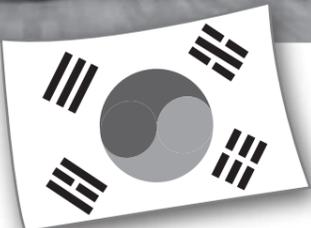
帰国後、それぞれの班が現地で学んだ知識や体験等を発表する「報告会」を行いました。



## 韓国班派遣

韓国班は11名が7月27日から7月31日に平澤を訪問し、「韓中日 青少年国際交流キャンプ」に、中国・寧波(ニンポー)市、秋田県、青森市の子ども達とともに参加しました。

また、8月3日から8月7日までは平澤の中学生を松山で受け入れて交流しました。



## 韓国班受入



## ドイツ班

ドイツ班は18名が7月20日から7月31日の12日間、フライブルクとオーストリアのインスブルックなどを訪問しました。



## アメリカ班

アメリカ班は16名が7月24日から8月3日の11日間、サクラメントとシアトルを訪問しました。





**Thank you (Thank you)**  
**松山市立勝山中学校 井川 万由佳**

アメリカへ行く飛行機の中でもうすでに、私の胸は弾んでいました。ついに待ちに待ったアメリカにやってきました。景色は日本と違って自然が多く、全てが大きく、気候は秋のように少し肌寒かったです。海外派遣のメニューは、オールドサクラメント、アーデンフェアショッピングセンターでの買い物、ワシントン大学の見学、メジャーリーグ観戦など盛りだくさんでした。

一番に残ったのは「ホームステイ」です。私のホストファミリーには、大きな犬がいて、犬好きの私にぴったりでした。犬と散歩に行ったり、ショッピングに連れて行ってもらったり、パーベキューをしたり、クッキーをつくったりと、どれも楽しいことばかりでした。ホストマザーのアンさんは、日本語がしゃべれません。しかし、私にわかりやすいように絵を描いてくれたり、とても親切に接して下さいました。私も英語で一生懸命話しました。アンさんに「You're English, so good.」と言われた時は、うれしかったです。お別れする時は寂しかったけど、本当に楽しい3日間でした。

すばらしいホストファミリーに出会えたことを、一生の宝物にしていきたいです。そして、この海外派遣で得た貴重な体験を将来、生かしていきたいと思っています。

| アメリカ班日程         |                                         |
|-----------------|-----------------------------------------|
| 7月24日(火)        | 松山発<br>サンフランシスコ着後、サクラメントへ移動             |
| 7月25日(水)        | サクラメント市内見学、<br>ウェルカムパーティー               |
| 7月26日(木)        | 金発掘体験、おけいさんの墓訪問                         |
| 7月27日(金)        | カリフォルニア・ステートフェア見学                       |
| 7月28日(土)~29日(日) | ホームステイ                                  |
| 7月30日(月)        | シアトルへ移動後、市内見学                           |
| 7月31日(火)        | ボーイング社エベレット工場見学、<br>バイク・プレイス・マーケットで英語研修 |
| 8月1日(水)         | ワシントン大学見学、シアトル市庁舎訪問、<br>ボランティア活動        |
| 8月2日(木)         | シアトル発                                   |
| 8月3日(金)         | 松山着                                     |

**アメリカでの体験 (困ったこと)**

**松山市立久米中学校 池内 明伸**

はじめから困ったことがありました。飛行機で水がほしくて「Water, please」と言うと、コーラが来てしまいました。これからどうやっていくのかなあと不安になりました。

次に困ったことは WELCOME PARTY です。班ごとの出し物で、僕たちは伝言ゲームに似たものをする予定で、その説明原稿を作っていました。しかし、皆の前に立つとうまく話せず、結局、みんなに助けてもらいました。僕は、アメリカ人は心が広いなあと思いました。

カリフォルニア・ステートフェアでは人生初のバンジーキャンプをしました。飛んだ後、ロープを持って下らないといけなかったけど、何を言っているかわからずできませんでした(笑)。でもバンジーキャンプはとても気持ち良かったです。

他にも困ったことがアーデンフェアショッピングセンターでもありました。ハンドクリームを買って帰るときに、中身が減っていたので同じ商品と取り換えました。すると、店員さんに「他の物とかえたらダメ!」みたいなことを言われて、説明するのが大変でした。何とかジェスチャーなどをつかって伝えることが出来ました。

その後、ホストファミリーの家に遊びました。ホストマザーは日本人女性で、隣の家を貸しているペンソン(20歳くらいの男性)と一緒に、プールやコストコ(会員制スーパー)などいろいろなところに行きました。ここでも言葉で少し困りましたが、ジェスチャーで何とか伝えることが出来ました。

アメリカで人と話した経験から思ったことは、人に物事を伝える難しさです。でも、伝えようという気持ちがあればなんとか伝わるということがわかりました。僕は、このことを忘れず、英語などの勉強をしていきたいです。また、アメリカにもっと興味を持って将来に繋げていきたいです。



愛媛県松山西中等教育学校 宇都宮 優之介

**貴重な体験、アメリカ派遣**

**新田青雲中等教育学校 石丸 悠宇**

7月24日、朝の10時半。私は期待と不安、そしてイチロー外野手の電撃移籍のショックを胸に、松山空港を飛び立ちました。そして2回の乗継を経て、現地時間午後4時にサンフランシスコに着し、その後、バスでサクラメントへと向かいました。これが長いアメリカ生活の始まりでした。

サクラメントでは、オールドサクラメント散策やステートフェア体験、シアトルではボーイング社の工場見学、バイク・プレイス・マーケットでの英語研修など色々な活動が予定されています。その中でも特に楽しかったのは、ホームステイ体験とマリナーズ対ブルージェイズのメジャーリーグ観戦です。

**初めての外国で...**



愛媛県松山西中等教育学校 宇都宮 優之介

伊丹空港のむつとする日本の気候と再会して、「アメリカにこんなぼがえりしたい!」と思いました。

アメリカでの11日間の中でも、ホームステイの3日間が一番楽しかったです。ホストファミリーは、かずさんです。かずさんの娘さんは農家を営んでいて、ホームステイ中にも訪れました。馬とヤギとニワトリが、小さな動物園でもひらけるくらい、ヤギとニワトリには、生まれて少ししかたつてない赤ちゃんがいて、かわいかったです。ニワトリの卵と庭の野菜をいただいて、翌朝に食べました。他にも、ゴルフ場とプールが隣接されている所に行きました。ゴルフは小さなコースを8まわってターゲットを競いました。色々なゲームがありとても楽しかったです。隣のプールは、「ウォーターライダー」だから大丈夫と行くことをOKした自分を後悔するほど怖かったです。一番恐れている「フワッ」とする感覚があり、生き地獄でした。でも最終的には楽しかったです。その後もいろいろなことで楽しませてくれたホストファミリーには、もう一度会いたいです。

この研修中に笑ってごまかしてしまったり、英語を勉強して、再びアメリカに行き、enjoyしたいです。

**私の宝物**

**愛媛大学教育学部附属中学校 太田 凧茶**

長かったようであっという間だった11日間。この11日間は、私にとって大切な日々でした。

研修の中で一番心に残っているのは、ホームステイです。私は英語があまり得意ではないので、ドキドキと不安でいっぱいでしたが、いざとなればワクワクと楽しさに変わっていました。

私のホームステイ先の人は、とても明るくて優しい家族でした。Mattie という女の子と Andrew という男の子もいて、いろいろなことを遊ばしました。特に Andrew とは歳が近かったので話も合い、すぐに仲良くなりました。ショッピングやプール、映画館も楽しかったけど、地元の人たちの行く公園やヨーグルのショップに行けたことが嬉しかったです。ヨーグルソフトはともおいしかったです。他にも、美味いハンバーガー屋さんやゲームセンターにも連れて行ってくれました。そのゲームセンターは、日本みたいなものでは、ありませんでした。

私のホストファミリーは、日本語がほとんど話せませんでした。一緒に生活する中で英語を話すというのは日本と違う、と感じました。発音が、ネイティブなので、聞き取りにくかったです。

この研修で、いろいろなことを学びました。すべてが宝物です。もっと英語を話せるようになって、もう一度アメリカを訪れたいと思います。私を成長させてくれた Mattie, Andrew, ホストファミリー、そして、両親や先生方に感謝します。



松山市立北条南中学校 近藤 千花

**アメリカでの出会い**

**松山市立椿中学校 工藤 春希**

今回の海外派遣で心に残ったことは、ホームステイです。ホームステイ先には、とても優しい、ローレンとメラニー、そしてお母さんとお父さんがいました。ステイ中は、家族の会話を聞くのも大変でしたが、分からないことがあると分かりやすく言ってくれました。

二日目に家のプールで遊び、夜は映画を見ました。プールでは、アメリカの遊びをしました。三日目には、お買い物にも連れて行ってもらい、サンダルを2足買ってもらいました。その後、マックで食事を買ってサクラメントで借使されていた事務所まで連れて行ってもらいました。とても大きくてびっくりしました。そして、家に帰ったあと、ショッピングをしました。ポリー

リングは、とても面白かったです。

最後のお別れをするのが、とても寂しかったです。けれど、サクラメントに新しく家族ができたみたいで嬉しかったです。メラニーには、アメリカの歌手を覚えてもらい、アメリカの雑誌、また、学校のバック、教科書などたくさん物を見せてもらいながら、学校のこと、そして友達のことをたくさん話してもらいました。ローレンには、音楽のこと、学校のことについて教えてもらいました。また、みんなでゲームをしたのも楽しかったです。

今回の海外派遣では、日本では体験できないようなことをさせてもらえて、本当に感謝しています。この経験をこれからの人生にいかしていけたらいいな、と思っています。



松山市立内宮中学校 武田 咲都美

**My camera...**

**松山市立北条南中学校 近藤 千花**

11日間のアメリカ研修。帰宅した際は、疲れと充実が入り混じった気持ちでした。家族には、「瘦せた」というより痩せかけた、と言われ、「大分疲れがたまっただんだ」と少し驚きました。

一番楽しみにしていた人生初のホームステイでは、VERONICA 家へ行きました。一日目は映画「The Amazing Spider-Man」を見て、フローズンヨーグルトのショップへ行き、近くの公園で遊んだりしました。夜中に公園で遊ぶのは初めてで、テンションが上がりました!それに子どもだけで夜中に外で遊んでいる、何も言われたいのは新鮮でした。帰る段になってカメラを落とすことに気づき、焦って全員で探したことは、良い思い出です(笑)。

二日目はショッピングモールに行きました。雑貨などたくさんのお土産を買い、写真を撮ってもらいとても楽しかったです。フード店では、アメリカの規模の大きさに、度肝を抜かれました。ハンバーガーは日本の1.5倍くらい、ジュースはワンサイズ上から



松山市立北条南中学校 近藤 千花

いでした。話には聞いていたけれど、まさか本当にこんな大きな〜と感動しました。ポテトの量も多く、お徳感がありました。でも、明らかに脂肪が多そうでした。

地道な作業に骨を折った金発掘ツアー、量が多くて少しうざりたスバゲテイクアウト、広大な球場を見開いたメジャーリーグ観戦...。たくさんさんの活動をさせてもらったんだな、としみじみ思います。生の英語を学べたかどうかは疑問ですが、少しはステイ先で教えたかった事を吸収できたと思います。研修に参加させる為、毎日自分の時間を割いてくれた両親、手伝ってくれた先生方、本当にありがとうございました。

**アメリカでの研修を通じて**

**松山市立内宮中学校 武田 咲都美**

今回の11日間を通して思ったことが、4つあります。

一つ目は、とにかく広くて大きいことです。面積が広いのはもちろんのこと、お店も広く食べ物も大きくて、特に、ジュースのサイズが日本でのLサイズぐらいで、本当にびっくりしました。

二つ目は、アメリカの人たちは優しいことです。ホームステイ先で親切にしてくれたら、買い物でも優先して買ってもらったり、たくさんありました。

三つ目は、時間の大切さです。私は、アメリカ滞在中に、何度も集合時刻に遅れて迷惑をかけてしまいました。本当に申し訳なく思っています。

四つ目は、英語とコミュニケーションの大切さです。私は英語が苦手なので、お店やホームステイ先で聞き取れないことがあり、悔しい思いをしました。また、コミュニケーションは、とても大切だと知りました。ほとんどのアメリカ人は、最初に「How are you?」と言います。日本ではあまりないことで驚きました。

今回のアメリカでの研修を終えて、たくさん学べるようになりました。自分では、少しは成長できたのではないかなと思っています。

最後に、今回アメリカでの研修を無事終えられたのは、たくさんの方の支えがあったからだと思います。皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、この貴重な体験を生かし、これからの国際交流活動に積極的に参加していきたいと思っています。



松山市立内宮中学校 武田 咲都美



姉妹・友好都市訪問  
& 異文化体験

引率の先生方のレポートは、  
7ページをご覧ください。

## アメリカ最高!!!

松山市立余土中学校 津坂 葉月

「Good Morning!」アメリカに着いてから、初めてのアメリカ。この派遣で一番楽しみにしていたのがホームステイでした。Anderson家は、お父さん、お母さん、Melanie (12歳)とLauren (14歳)の4人家族でみなとても親切でした。次の日は、着いた日はぐっすり寝てしまいました。次の日は、裏庭にある巨大なプールに入りました。買ったばかりの水着で鬼ごっこをしましたが、私は泳ぐのが下手なので、鬼になった時、みんなを捕まえるのに苦労しました。日焼け止めを塗っていなかった事に途中で気付きました。体が真っ赤になって、ヒリヒリと痛かったです。また、近くのボーリング場にも行きました。ストライクはとれなかったけれど、スベアを何回かとり、その時は嬉しくて飛び跳ねました。順位は3位だったけれど、楽しかったです。

ステイ先のお父さんが、昔働いていたという約百年前に建てられた刑務所について話してくれました。1部屋に3〜4人暮らしているという話が印象的でした。会話中、早く聞き取れなかったり、知らない単語が出て理解するのに時間がかかったけれど、久しぶりに長時間会話することができ、充実した時を過ごせました。イギリス英語とアメリカ英語の違いは、あまり感じませんでした。

アメリカはプールが1つ、2つある家や、犬が走り回れる大きな家が多いので、国が広々としているように感じました。Anderson家にはいろいろなお世話になり、本当に感謝しています。もう1つの家族でできたような気がしました。この派遣は一生の宝物です。この経験を今後、将来の自分の夢に生かせるように、頑張りたいです。



## 新しく得たもの

済美平成中等教育学校 時枝 蓮

私がアメリカへ行き、得たものは3つあります。一つ目は自分の世界を広めることができたことです。アメリカに着いて最初に、その土地の大きさに驚きました。日本とはまったく違う世界を感じる事ができ、大きな糧となりました。

二つ目は英語をもっと積極的に学びたいと思えたことです。私は今まで英語が苦手で、話せなくてもいいのではないかと悩んでいました。しかし、アメリカで英語がなかなか伝わりないうもどかしさを感じました。同時に、英語が伝わったときの嬉しさも感じる事ができました。だからもっと英語を学んで、次にアメリカへ行くときには、今回以上にたくさん会話を楽しめるようにしたいと思いました。

三つ目は新しい仲間と家族に出会えたことです。派遣の研修のとき、このメンバーで11日間も楽しく過ごせるのだからかという不安が少しありました。ほとんど話したことがなかった人とも、とても楽しく過ごせました。派遣中の8月2日が誕生日だった私をお祝いしてくれ、みんな11日間を共に過ごした大切な仲間となりました。また、最も楽しみにしていたホームステイで、Anne Jordanさん一家と大切な思い出を作ることができました。私たちが来てくれてとても嬉しいと何度も言ってくれたり、ショッピングに連れて行ってくれたり、バスステイキーを作ってくれたりしました。ホームステイはもう終わったけれど、これから手紙などで話せたらいいなと思います。

アメリカで過ごした11日間は私にたくさんものを与えてくれました。一生の宝物です。



## 言葉そしてスケール!

愛光中学校 豊島 健史

僕はこの研修で、言葉が伝わらない事の難しさを改めて感じました。

一番強く心に残っているのはショッピングセンターで、日本語だと「なんでもない」「この商品は、量が少ないよ」などの交換してください」という事を、15分もかけて、ジェスチャーや片言の英語を交えながら伝えました。習ったはずの簡単な言葉も、実際にその場に立つと、思うように話せず焦りました。

ホームステイ先では、聞くことはできるのに、英語

自分のしたい事を伝えたり、ホストファミリーの質問に答えたり、話しかける事ができず、もどかしい思いをしました。さらに、レストランやスーパーでは、欲しい物と違う物が出てきて驚いた事もありました。言葉だけでなく、ジェスチャーも意思を伝える為には欠かせないものだと思えました。これからはもっと勉強を頑張って、自分の英語を理解してもらえようになりたいです。

また、アメリカはスケールも大きく、マクドナルドもドリンクバー式で何杯もおかわりができ、おカシの袋は日本では見慣れない程大きい物もありました。この研修では、日本にいたら分からない事がよくわかる経験ができました。盛りだくさんのスケジュールの中、ボーイング社、シアトルやサクラメントの市庁舎など、旅行ではなかなか行くことができない施設を見学させてもらい、一生の思い出ができました。あつという間の11日間で、タイムスリップしたい位楽しかったです。

最後に、この研修でお世話になった先生方、MICOの皆さん、そして一緒に仲間に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

## アメリカの思い出

松山市立西中学校 中川 雄太

アメリカで心に残っている思い出は3つあります。一つ目はホームステイです。同じ家にステイした派遣生三人とは、夕湖やショッピングに連れて行ってもらいました。ルイスさんの手作りピザ、トラヴィスさんと仲間のヨーヨーやゲーム、全部が楽しい思い出です。4歳のアンジはとても可愛く、遊んだり、話をたくさんしました。しかし、実際に外国人と話しているのか聞き取れないことが多くありました。改めて、英語をもっと勉強して、スムーズに聞いたり話せるようになりたいと思いました。

二つ目はメジャーリーグ観戦です。マリナーズ対ブルージェイズの試合を見ました。イチロー選手がヤンkeesに移籍したことがとても残念でした。しかし、白熱した試合を観戦することができ、スケールの大きさと迫力に圧倒されました。試合は3対5でマリナーズが勝ちました。

三つ目はすべて英語で行った、WELCOME PARKでの紙芝居とボーイング社でのお礼の言葉です。少し不安でしたが、終わったときに拍手や「Thank you」と言われたので、伝わったときの喜びを感じる事ができました。

この海外派遣でお世話になったすべての人への感謝の気持ちを忘れず、経験したことや学んだことを、今後の生活に生かしていきたいです。



## アメリカの思い出

愛媛県立松山西中等教育学校 仲原 健一郎

それは、アメリカ人のやさしさにふれた3泊4日でした。ホストファミリーの「おさん一家には、とてもお世話になりました。初めて会った僕たちに家族のように接してくれました。ステイ中は迷惑をかけたかもしれません。いろいろ尽くしてくれる家族に、「Thank you」ばかりいっていました。

一日目の夜は、主に僕たちからのお土産遊びました。1つお土産を渡すたびに、「Thank you so much」と言われました。4才のアンジがだるま落としにハマり、「しばらく遊んで寝ました。そのときホストマザーに「何時に起きればいい?」とほとんど単語のような英語でいうと、「私たちはあなたの先生ではなく家族だから気にせず寝ていなさい」といわれました。そんなやさしさにまた嬉しくなりました。

二日目は、言われた通りに9時まで寝ました。それからショッピングに行きあつという間に過ぎました。ただあつという間過ぎて、アンジとあまり遊ばず、少しすねられました。

三日目は、同じように9時まで寝て、近くの夕湖に泳ぎに行きました。夜は、「おさん達の佐伯さん一家と遊んだり話したりしました。佐伯さんは英語も話せるので、それまでよりも話の内容が濃かったです。庭で盛り上がり、アンジに水鉄砲をかけられつつも、楽しい夜を過ごしました。

四日目の朝はすぐに出発の時間でした。話していることがほとんどわからず、困った4日間でしたが、とにかく楽しかったです。もっと英語が話せればどんなに楽しかったらと思う、「英語がもっと話せるようになったら絶対に帰ってくる」と心の中で誓い出発したのでした。



## アメリカの思い出

済美平成中等教育学校 新居田 皓子

8時間という長いフライト。それは、苦痛であった一方、期待、不安、楽しみなど色々な感情が私の心の中をさまよっていました。シアトルに着いた瞬間は、乾燥した空気が緊張で、暑いとは思いませんでした。アメリカでの時間がゆっくりと流れはじめたのです。今回の派遣で、たくさんの思い出を作ることが出来ました。そして、伝えることの難しさを実感しました。普段日本の生活では、家族や友達に思っていることを簡単に主張出来ませんが、言葉の通じない海外の人に意思を伝えることがいかに難しいかが分かりました。それを一番感じ取ったのがホームステイです。何度試みても言いづらい事が通じず、そのときは言葉の壁を感じ、伝わらない感じが悔しかったです。でも、ホストファミリーは私のこころを察知し、懸命に聞き取り、話しかけてくれました。たくさんの気遣いをしてくださり、とても優しいご家族でした。

ホストファミリーとお別れの時、私は、おさん一家に「おさん」と何度か言いました。それは決して上辺だけで言ったものではありません。派遣中に感じた、言葉が伝わらない悔しさを忘れず、もっと英語がしゃべれるようになって、絶対またこの地に来ようと思いついてきた言葉でした。

今回の経験は、日本を見つめなおしたり、将来について考えたりする良い機会となりました。この経験を将来に生かしたいと思えます。この夏は、今までの一番充実していて、一生の宝物となりました。一緒に楽しかったこと、思い出した仲間を今後も機会を与えてくれた両親、ご指導いただいた国際交流センターの皆様、先生方、アメリカでお世話になった方々、全ての方に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

1年の思い出

愛媛県立松山西中等教育学校 西村 真智子

11日のアメリカ研修の中で、一番私の心に強く残っているのは、やはりホームステイです。ホームステイの3日間は、私の一生の財産となりました。ホームステイで一番楽しかったのが、二日目の夕方ホストファミリーの方々とその親戚でご飯を一緒に

7月24日、期待と不安を背負って、松山空港を出発しました。その時は、「1日開いて長いなあ」と思っていたのに、いざアメリカに行ってみると、本当にあつという間でした。アメリカでは、慣れない英語に苦戦し、必死に単語を覚えて会話していました。そんな中で私が一番使ったのは「Thank you」です。

アメリカでは、寮の方やバスの運転手さん、ガイドの方、ホストファミリーなど、たくさんの方々に出会いました。また、ショッピングモールや遊園地、日本街、ボーイング社、バイクブレイスマーケットなど、たくさんのおもしろい場所がありました。あらゆる場面で「Thank you」を使い、そうすると相手は笑顔で返事してくれました。「Thank you」とは、簡単だけれど、相手にちゃんと感謝を伝えられる、大切な言葉だということを学びました。

私の心にのこっているのは、バイクブレイスマーケットでの宝探しゲームです。班でマーケット内を走り回り、お題の写真を撮る場所を探しました。1位のチームには景品があると聞いたので、4人とも真剣でした(笑)。ゲームで一面埋めつくされた壁や、マリオの彫刻、金色の豚の像など、インパクトのあるものばかりでした。4人で協力したおかげで、結果は1位!!バイクブレイスマーケットのマグネットをもらいました。その後、スターバックス1号店に行き、アイスコーヒーをいただきました。1号店はお店のロゴが違い、珍しいのでお客さんがたくさん並んでいました。

今回の派遣では、引率の先生方を始め、国際交流協会の方々や添乗員さん、現地の方などたくさんの方に支えられて活動ができました。本当に感謝しています。ありがとうございました!







姉妹・友好都市訪問  
& 異文化体験  
引率の先生方のレポートは、  
7ページをご覧ください。



係者のみなさんには感謝の気持ちで一杯です。帰国後  
も松山に来て  
いる留學生の  
人達と積極的  
にコミュニケーションを  
図り、この経験を生か  
して、恩返しをしたいと思います。

## 「Danke!」

松山市立南中学校 星加 梨来

私はドイツ・オーストリアへの派遣に参加したこと  
で自分に自信がもてるようになり、1回も2回も  
成長できたと思います。

私は派遣生に選ばれた時、ドイツではとにかく積極  
的に笑顔で話しようとしていました。でも出発が  
近づいてきて、私の英語は本当に通じるのか、ホー  
ムステイ中しかりやっつけていけるのかどうか心配にも  
なりました。

しかし、実際に行ってみると喋ってみたいという  
気持ちでどんどん大きくなり、心配していたことなど  
忘れていました。ホームステイ中はとにかく英語でた  
くさん喋りました。

私のホストファミリーは、いろいろなところに連れ  
て行って、池でのボート遊びやゴルフなどを  
させてくれました。仲良くしてもらい、ドイツと松山  
の違うところや、日本のこと、自分のこと、いろ  
いろな感想などをたくさん話さずにはいられな  
かった。日本の文化の折り紙をしたり、パートナーの妹と  
友達と日本のゲーム、ニンテンドーDSで遊んで盛り  
上がりました。

ホストファミリーとの交流以外にも、オリエンテー  
リングではたくさんの方々に話しかけて答えを  
聞いたり、挨拶をしたりしました。どのときも出発前  
に決めてい



た、積極的  
にというこ  
とを達成で  
きたし、自  
分の英語で  
も通じるこ  
ともわかっ  
たので、自  
信が付きま  
した。とて  
もいい派  
遣になって  
よかった。

## 伝導する文化

愛光中学校 前田 哲郎

フリットから初めてメーが来たのは、出発の1  
週間前7月13日でした。僕のホストファミリーが決  
まったとメーから連絡があった後すぐに、写真付き  
のメーが送られてきました。彼は僕と同じ14歳で、  
ドイツとサッカーと乗馬のできるイケメンでした。  
長いフライトと、5時間のアウトバウンドを抜けて、  
ようやく会えたフリットは、僕と同じくらい身長  
でした。すぐに仲良くなれると思いましたが、  
日本の漫画の「NARUTO」が大好きだと聞いて  
いたので、お土産に持っていったら、とても喜んで  
くれました。また風呂敷（ポケモンのキャラクター付  
き）をプレゼントして、使い方を教えると、早速自分  
の服を包んでホストファミリーに見せました。ホスト  
ファミリーは海苔せんべいの海苔を、ホストマザー  
は緑茶を、フリットのお姉さんのヴァニラはアイス  
アーモンドのおかきや、それぞれ入れこ  
して、使いや食  
べ方を説明するの  
は難しかったけれ  
ど、お茶漬けを食  
べてくれていたみ  
んなを見て、日本  
の文化が伝わり、  
受け入れられたこ  
とに誇りを感じま  
した。

フリットは、食べ  
物をはじめる文化の速い面白  
いと思います。



## 世界への一歩

済美平成中等教育学校 南 麻里奈

この派遣で初めてホームステイを体験しました。  
ホストファミリーの「Astrid」と「Anissa」(18歳)  
が笑顔で迎えてくれたおかげで緊張も解れました。  
ホームステイ二日目には、朝市と動物園に行きました。  
朝市では、市場の人が笑顔で話しかけてくれたので  
嬉しかったです。動物園では、初めてラクダに触った  
り、見たことがない動物もたくさんいましたので楽し  
むことができました。

サッカースタジアムでは、ソーラーパネルがたくさ  
ん設置され、環境にもよく、お金を無駄に使わないた  
めの工夫もされていたので、フライブルク市の環境に  
対する思いが詰まっていると感じました。



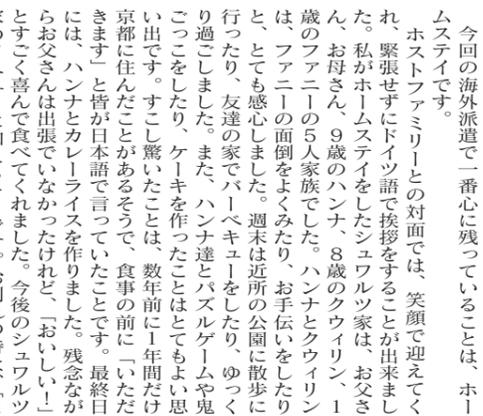
オースト  
リアでは、  
農家の人達  
と物作り  
を体験しま  
した。会話  
するに苦し  
むのが、ジ  
ェスチャー  
も加えなが  
ら、コミュニ  
ケーション  
を取るこ  
とができま  
した。また、

## 最高の思い出！

松山市立道後中学校 宮本 佳奈

今回の海外派遣で一番心に残っていることは、ホ  
ムステイです。  
ホストファミリーとの対面では、笑顔で迎えて  
くれ、緊張せずにドイツ語で挨拶することが出来ま  
した。私がホームステイをしたシュワルツ家は、お父さ  
ん、お母さん、9歳のハンナ、8歳のクワイリン、  
1歳のフアンニの5人家族でした。ハンナとクワイリン  
は、フアンニの面倒をよくみたり、お手伝いをしたり  
と、とても感じが良かったです。週末は近所の公園に散歩  
に行ったり、友達の家でバーベキューをしたり、ゆっ  
くり過ごしました。また、ハンナ達とバスゲームや鬼  
ごっこをしたり、ケーキを作ったこともとても思い  
出です。すこし驚いたことは、数年前に1年間だけ  
京都に住んだことがあるので、食事の前に「いただきます  
です」と日本語で言うのを聞いたことです。最終日  
には、ハンナとクワイリンを作りました。残念ながら  
からお父さんは出張でいなかったけれど、「おいしー  
」とすこし喜んで食べてくれました。今後のシュワルツ  
家のメニューに加えてくれるので、お別れの際は、「ま  
たドイツに来るから」と言ってくれ、みんなとハグをし  
ました。ホストファミリーと過ごした5日間は、最高の  
宝物となりました。

そしてもうひとつ忘れられないのが、14歳の誕生日  
をオース  
トリアで迎  
えることが  
出来たこと  
です。一緒  
に行つたみ  
んなに歌を  
歌つてお祝  
いしてもら  
い、とても  
感動しまし  
た。このよ  
うな素晴らしい  
体験をさせ  
てくれた  
ことに感謝  
しています。

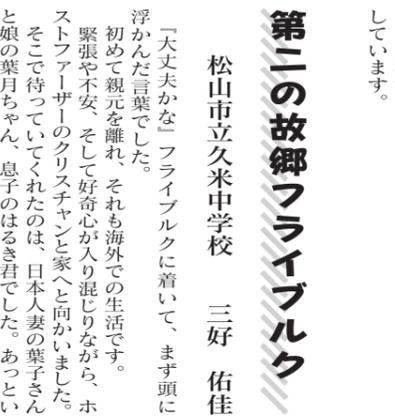


## 言葉の壁を突破

松山市立余土中学校 森 義晴

僕が今回の研修で最も心に残ったものは、何とい  
てもホームステイです。ホームステイでは、他国の  
人と触れ合うことで日本では感じられないような様  
々な体験ができました。そのひとつが「言葉」です。  
僕のホストファミリーは子供のいない家庭で、英語  
の上手な妻と休む暇なく話さなければいけません  
でした。だから、英語が苦手な僕には理解できない  
単語がいくつも出てきました。その時、僕は言葉の  
劣等感や言葉の壁の大きさを知り、只々、「Sorry」  
と言ってしまうことが多く、とても悔しい思いをしま  
した。しかし、あるとき「下手でもいいから話さない」と  
いうお母さんの言葉が思い出し、積極的に話しかける  
ことにしました。どんな些細なことでも言葉にできる  
ものは口に出し、理解できない単語があれば「What  
do you mean?」と聞く、簡単なようで難しい  
この2つをやると、少しずつ相手の言っていることが  
理解でき会話が楽しくなりました。会話が楽しくな  
ると、分らない単語を減らして、もっとたくさん話  
そうと思い、友達に意味を教えてもらったりしまし  
た。すると、4日間という短い期間で自分でも驚くほ  
ど英語が上達してい  
ました。

ホームス  
テイで言葉  
を使って  
人と話せる  
というこ  
とは喜ばしく  
幸せなこと  
だといふこ  
とを学びま  
した。だから、  
たくさんの  
国に行つ  
て、日本語



## 第二の故郷フライブルク

松山市立久米中学校 三好 佑佳

「大丈夫かな」フライブルクに着いて、まず頭  
浮かんだ言葉でした。初めて親元を離れ、それも海外での生活です。  
緊張や不安、そして好奇心が入り混じりながら、ホ  
ストファミリーのクリスチャンと家へと向かいました。  
そこで待っていてくれたのは、日本人妻の葉子さん  
と娘の葉月ちゃん、息子のはるき君でした。あつとい

## ドイツで絆が生まれたとき!

愛媛県松山西中等教育学校 弓矢 琉華

いよいよドイツ「フライブルク」に上陸！そんな中、  
私の心の中は楽しみ3割・不安7割の複雑な気持ちで  
した。ホストファミリーと対面する時間が近づいて  
きて、その気持ちは大きくなるばかり・・・とうとう  
ホストファミリーと対面！その場で握手を交わして  
ホストファミリーの家へ向かいました。家に着くと、  
ホストファミリーとパートナーのマリーが丘の上へ運  
んで行って、日が沈むきれいなフライブルクを見  
せてくれました。私が「Beautiful」と言うと、笑  
顔でうなずいてくれたホストファミリーの優しさに、  
「英語の単語でいいからまず、考えるより喋ってみよ  
う」と決意をしいた初日でした。

次の日から、私は未熟な英語でエックハーダ家のみ  
なさんとたくさんコミュニケーションをとりました。  
初日の不安が吹き飛んだようでした。エックハーダ家  
のみなさんは、本当に優しく、私のわからないことが  
あると、ひとつひとつ教えてくれたり、最終日には5  
日間のフライブルクの旅を「CD-ROM」にまとめ  
たものをプレゼントしてくれました。



## 言葉の壁を突破

松山市立余土中学校 森 義晴

僕が今回の研修で最も心に残ったものは、何とい  
てもホームステイです。ホームステイでは、他国の  
人と触れ合うことで日本では感じられないような様  
々な体験ができました。そのひとつが「言葉」です。  
僕のホストファミリーは子供のいない家庭で、英語  
の上手な妻と休む暇なく話さなければいけません  
でした。だから、英語が苦手な僕には理解できない  
単語がいくつも出てきました。その時、僕は言葉の  
劣等感や言葉の壁の大きさを知り、只々、「Sorry」  
と言ってしまうことが多く、とても悔しい思いをしま  
した。しかし、あるとき「下手でもいいから話さない」と  
いうお母さんの言葉が思い出し、積極的に話しかける  
ことにしました。どんな些細なことでも言葉にできる  
ものは口に出し、理解できない単語があれば「What  
do you mean?」と聞く、簡単なようで難しい  
この2つをやると、少しずつ相手の言っていることが  
理解でき会話が楽しくなりました。会話が楽しくな  
ると、分らない単語を減らして、もっとたくさん話  
そうと思い、友達に意味を教えてもらったりしまし  
た。すると、4日間という短い期間で自分でも驚くほ  
ど英語が上達してい  
ました。

ホームス  
テイで言葉  
を使って  
人と話せる  
というこ  
とは喜ばしく  
幸せなこと  
だといふこ  
とを学びま  
した。だから、  
たくさんの  
国に行つ  
て、日本語

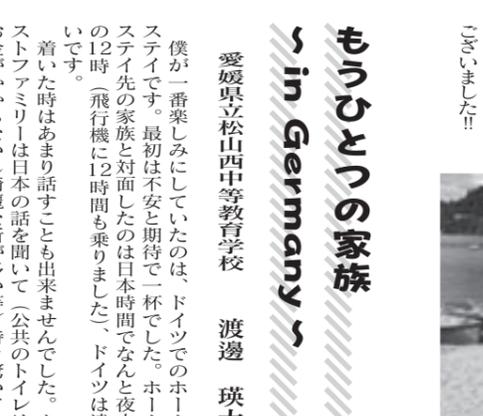


## 家族 in Germany

愛媛県立松山西中等教育学校 渡邊 瑛大

僕が一番楽しみにしていたのは、ドイツでのホー  
ムステイです。最初は不安と期待一杯でした。ホー  
ムステイ先の家族と対面したのは日本時間だと夜中  
の12時(飛行機に12時間も乗りました)、ドイツは遠  
いので、  
着いた時はあまり話すことも出来ませんでした。ホ  
ストファミリーは日本の話を聞いて(公共のトイレは  
お金がかからない綺麗な所が多い等)時々驚いてい  
ますが、ホストファミリーの子どもに「ネコを折つ  
て」と頼まれ、一度も折った事がなかったものでとど  
まらなりましたが、なんとか完成しました。それをど  
もに入れてくれて、これをきっかけに仲良くなり、広  
い庭で追いかけて遊ぶことができました。向こうの  
家を見た瞬間、お父さんお母さんに話しかけ、向こう  
の言っていることがある程度わかった時は、とても嬉  
しかったです。

ドイツではエクスチェンジの見学や、ホットドック  
の購入体験など積極的に取り組めました。あつとい  
う5日間の短い期間で、ホストファミリーと別れる時  
は、とても寂しかったです。



## 言葉の壁を突破

松山市立余土中学校 森 義晴

僕が今回の研修で最も心に残ったものは、何とい  
てもホームステイです。ホームステイでは、他国の  
人と触れ合うことで日本では感じられないような様  
々な体験ができました。そのひとつが「言葉」です。  
僕のホストファミリーは子供のいない家庭で、英語  
の上手な妻と休む暇なく話さなければいけません  
でした。だから、英語が苦手な僕には理解できない  
単語がいくつも出てきました。その時、僕は言葉の  
劣等感や言葉の壁の大きさを知り、只々、「Sorry」  
と言ってしまうことが多く、とても悔しい思いをしま  
した。しかし、あるとき「下手でもいいから話さない」と  
いうお母さんの言葉が思い出し、積極的に話しかける  
ことにしました。どんな些細なことでも言葉にできる  
ものは口に出し、理解できない単語があれば「What  
do you mean?」と聞く、簡単なようで難しい  
この2つをやると、少しずつ相手の言っていることが  
理解でき会話が楽しくなりました。会話が楽しくな  
ると、分らない単語を減らして、もっとたくさん話  
そうと思い、友達に意味を教えてもらったりしまし  
た。すると、4日間という短い期間で自分でも驚くほ  
ど英語が上達してい  
ました。

ホームス  
テイで言葉  
を使って  
人と話せる  
というこ  
とは喜ばしく  
幸せなこと  
だといふこ  
とを学びま  
した。だから、  
たくさんの  
国に行つ  
て、日本語





# 韓国班

### 〜姉妹・友好都市訪問 & 異文化体験〜

引率の先生方のレポートは、7ページをご覧ください。

| 韓国班日程    |                 |
|----------|-----------------|
| 7月27日(金) | 松山発 ソウル着後、平澤へ移動 |
| 7月28日(土) | 青少年国際キャンプ開会式など  |
| 7月29日(日) | ホストファミリーと過ごす    |
| 7月30日(月) | ソウル市内見学、お別れ会    |
| 7月31日(火) | 平澤発 松山着         |

| 韓国班受入日程 |                         |
|---------|-------------------------|
| 8月3日(金) | 松山着                     |
| 8月4日(土) | オリエンテーション 日本文化体験、ホームステイ |
| 8月5日(日) | 各家庭での交流                 |
| 8月6日(月) | しまなみ海道へバスツアー            |
| 8月7日(火) | とべ動物園、防災体験、松山発          |

## 韓国から帰って

松山市立余土中学校 青野 良平

僕は韓国という異国の文化に触れ、違いを知ることができ、とてもいい経験になりました。

例えば、水道水が飲めないということ。日本では、当たり前のように飲んでいたので、びっくりしました。

他には、韓国の子どもは日本の子どもよりも、とても明るかったことです。僕も、韓国の子どもたちのように、とくに強く思いました。

一番楽しかった思い出は、やはりホームステイです。最初は緊張して話しかけることができなかったけれど、パートナーのヒョンが先に話しかけてくれたので、楽しく会話をすることができました。

僕は、韓国から帰ってきて、これまで気付くことのできたことを、日本のいいところを見つけて、見つけたところを改善したり、はたしていきなりたいです。



## カムサハムニダ

松山市立南中学校 石丸 真帆

「英語が伝わらなかつたらどうしよう、どう接したらいいかな」と松山を出発する時はたくさん不安がありました。でもパートナーのナヨンと初めて会った時、明るく声をかけてくれたので、一瞬で気持ちがほぐれました。

韓国で日本語の先生をされているお父さん。おいしい韓国料理をつくってくれたお母さん。本場の味は想像よりずっとおいしかったです。ナヨンと妹のソヨンはとても可愛い女の子でした。コスメショップに買い物に行ったり、ヌボコのお店を案内してくれたたりしました。ファッションやアイドルに興味があるのは日本の女の子と一緒だと思いました。弟のゴヨン君は8歳なのに、日本で英検3級を取った私より英語が上手で私は恥ずかしかったです。もちろんナヨンやソヨンはペラペラで同じ世代の女の子として私をもっと上手に話したいと話したらどんなに楽しそうかと思えました。

韓国は日本と変わらないところもあつたけど、空気を吸っただけで「私韓国にいるんだ」と感じるくらい日本とはやっぱり違います。受験前で勉強の時間は取れない夏休みだったけど、韓国での異文化体験は私にとつて今しかできない大切な時間となりました。そして韓国に行かなければ出会わなかった松山と韓国の友達21人。また会いたい！もつと話したい！という気持ちが成長した私が、松山と平澤の懸け橋になれたら、夢がまた増えました。

## 1年の思い出

松山市立三津浜中学校 石丸 美理

8月28日、いよいよ私が一番楽しみにしていたホームステイの日がやってきました。ホームステイへ出発の時は、私のパートナーのガユンと、いとこのジョンミン家族が温かく迎えてくれました。私は、父が韓国語のため、ホームステイ先ではできる限り韓国語での会話を頑張りました。自分の話す韓国語があつているか、それが正確に伝わるか不安でしたが、ガユンはちゃんと理解してくれて、私が間違っていたら正しい韓国語を教えてくださいました。ホームステイ2日目は、ガユン、弟のソウオン、ジョンミン、そしてガユンの友達と5人でピョンテク市内に行きました。デザートと一緒に食べているピョンテク駅の本場のロッテリアでアイスクリームを食べたり、カラオケボックスに行ったりしました。カラオケで歌える曲はなかったけど、たくさんおしゃべりをして、少しは私の韓国語も上手になりました。他にも、激辛のトッポキ店に行ったり、ガユンとジョンミンと3人でプリクラを撮ったりしました。夏の暑さも吹っ飛ばすくらい楽しかったです。

夕方からは、ガユン一家、ジョンミン一家とエバーランドという大きな遊園地に連れて行ってもらいました。夜の11時までいて、パレードを見たりスリル満点のアトラクションに乗ったりして、パートナーとの友情も、ホストファミリーとの交流もより一層深めるこ



とができます。松山にはこんな大きな遊園地がないので、とてもいい思い出を作ることができました。

私は、この派遣事業を通して、積極的に話しかけ、明るく接すれば、外国でもコミュニケーションをとることができるといことを学びました。とにかくいろんな人に話しかけ、パートナー以外のピョンテクの子どもたちとも仲良くなることができました。

私は、親戚が韓国に住んでいるので、連絡をとって、韓国に行つたときにまた会いたいです。そして、それまでに韓国語がスムーズに話せるように、家で頑張ります。みんなを驚かせたいです。最後に、この派遣事業に参加させてくれた家族と、一緒に活動したみんなに感謝したいと思います。

## 出会えて良かった！

松山市立南中学校 菅家 彩葉

7月28日の朝、私たちはドキドキしながらパートナーに面会しました。私のパートナーは、大人しくてマイペースな女の子、イ・ヨンスです。

最初は、お互いに緊張していましたが、開会式が始まるまでの時間やコンサートの会場に行くまでの移動時間に、家族や友達の写真を見せたり、色々なことを英語で質問し合ったりしていくうちに、自然と距離が縮まってきました。

そしてその夜、温かい笑顔をしたお父さんが迎えて来て下さり、ホームステイが始まりました。そこからは、英語の上手なお母さん、元気なおばあさん、大人しくて優しいお兄さん、そして、日本語を習っているヨンスの幼馴染、ユナとの出会いがありました。韓国語が全くできない私にとって、通訳をしてくれるユナが存在は、とても心強かったです。次の日の午前中は、ヨンスとユナと3人で過ごしました。ゲームセンターに行ったり、お菓子を食べておしゃべりをしたり、その間も色々な文化の違いに触れ、カルチャーショックの連続でした。

優しい家族とユナ、そして、パートナー・ヨンスのおかげで本当に楽しいホームステイとなりました。ヨンスとユナは、私の「最高の友達」、ヨンスの家族は、私の「もう一つの家族」です。

## 最高の仲間との出会い in 韓国

松山市立南中学校 河野 純希

僕にとっては初めての海外、初めての韓国で、これまでない緊張で仁川空港へと降り立った。そして緊張したまま歓迎会や開会式が終了し、パートナーのジョンスト、彼の家族に迎えられる。ホームステイの日本との違いをたくさん知ることができ、また、家族と一緒にショッピングモールや市場、レストランなど色々な所に出かけ、楽しい思い出もたくさんできた。他国に触れることで、日本の良さを改めて感じられる。恵まれた生活をしているのかということにも気付かされた。

今回の海外派遣を通して、貴重な経験ができたこと、や「みんな同じ地球人」ということを実感できたこと、そして、韓国・日本と男女合わせ総勢21人の本当に最高の仲間との出会いが僕にとって宝物となった。英語・韓国語・日本語という多言語が飛び交う中で、たくさん話をしながら、最後は10日間を一緒に過ごしただけでも思えないほどに別れを惜しんだ。海外派遣終了後も、翻訳で苦しみながらもメールでの交流が続いているが、これからもずっと続けたらいい。

そして必ず、また日本で、韓国で、この最高の仲間達と再会したいと思ふ。また、今回の海外派遣で学んだこと、感じたことを、これからの生活の中で生かしていきたい。

## 初めての韓国 in 韓国

新田青雲中等教育学校 高木 野絵

今回の海外派遣は、私にとって初めての海外になりました。待ちに待ったパートナーとの対面するとき髪の毛染めている子が多いのを見て、本当に驚きました。私のパートナーはヨンギョンという名前のおしゃれが大好きな女の子でした。ヨンギョンの家は、中国寧波市からの派遣生とお母さんとお祖父さんとお父さんとお母さんとお父さんがいました。家族全員優しく、快適に過ごすことができました。ホームステイで一番思い出になったのは、エバーランドという遊園地に行ったことです。そこで食べたアイスが日本では見かけないようなもので、戸惑いました。食べ物は辛いものが多く、飲み物をあまり飲まないで疲れました。言葉に関しては、英語を必死に話し、韓国の子どもたちと仲良くなるのが、躊躇なくコミュニケーションがとれるようになりたいです。韓国語と英語を習得して、もっと仲良くなりたいです。



## 韓国 Friend

新田青雲中等教育学校 仲田 いずみ

私が派遣で韓国に行つてわかつたことは、言葉が通じなくても、自分が伝えたいと思えば、伝わることです。でも、わたしのパートナーという時は、その必要がありませんでした。日本語を話すのがとても上手だったので、家族全員上手だったので、びっくりしました。私は、パートナーのイェウオンに「どうやって日本語を勉強したの？」と聞くと、小さいころから、日本のアニメやマンガが大好きだから、ずっと見たら読んでいたし、今は家に家庭教師を呼んで、日本語を勉強していると言っていました。「すごいな。」と思いました。

ホームステイをしている時に、私は、エバーランドという遊園地に連れて行ってもらいました。そこで、お母さんとお父さんに、「いずみ、Tエクスペリエンスに乗ろう」といわれました。最初は何だろうと思っただけ、OKといわれました。行つてみると、それはジェットコースターでした。いざ乗ると、心臓が止まりそうなくらい怖かったです。だけどとても楽しかったです。

私は、この派遣でたくさん学べることができました。韓国の文化もだし、なにより、国が違っても友達になれるというのがわかりました。私は、パートナーのイェウオンと「絶対にメールをしようね。」と約束しました。また、会つてたくさん遊びたいです。派遣は終わりましたが、私はこれからも松山市の活動に積極的に参加したいと思います。この回は、このような機会をいただき本当にありがとうございます。ありがとうございました。

## 最高の思い出

新田青雲中等教育学校 西原 一仁

8月4日パートナーのジミンに再会しました。コマズでの料理体験、二の丸庭園での日本文化体験で交流



## パートナーとの交流を通じて

松山市立雄新中学校 西本 彩乃

韓国で知り合い、日本で再会という形で会った私達は、もちろんすぐに、コミュニケーションをとることができました。

再会した日の夕方からはホームステイでした。ホームステイでは土曜夜市に参加したり、道後温泉に連れて行ったり、日本の文化や伝統を伝えようとかんばりしました。夜には話が盛り上がり、いつもより遅く寝てしまったことも、パートナーの思い出の1ページとなりました。お互い話を通じた思い出もあつたけれど、パートナーも分かってくれたと思います。

私のパートナーは家族思いで、おとなしくても、言いたい事は絵でも単語でも紙に書いて一生懸命伝えているところ、今回のプロジェクトを通して、私は大きく成長できたと感じました。

韓国、日本人、日本人と生まれや故郷は違いますが、友達です。今回のプロジェクトに参加したことをはじめの大きな一歩として、頑張っていきなりたいです。





# アメリカ、ドイツ、韓国の姉妹・友好都市に派遣生として行きたくなった皆さんは 中学生チャレンジプロジェクトに登録をしよう!



## 中学生チャレンジプロジェクトとは

### ① プロジェクトに参加できるのは

- ・松山市内に住んでいる、中学1年生、2年生
- ・広く世界の国々について興味があり、地域での国際交流活動に参加する意欲のある人

### ② プロジェクトの流れ



### ③ ポイント対象となる国際交流活動例

- ・地球人まつり
- ・まつやま中学生海外派遣報告会
- ・フライブルク市寄贈のブドウ収穫・交流イベント
- ・MIC職場体験
- ・国際交流サロン
- ・「のぞいてみよう! 国際協力の世界」
- ・「外国語 de おしゃべり」(ジュニア編)
- ・ホームステイプログラム
- ・My Matsuyama Family

4ポイント  
以上ためると  
応募可能



## まつやま国際交流センターって どんなところ?

### ① 「私も何かしてみたい!」 という皆さんへ

#### ☆ボランティアガイドのための語学講座

ボランティア活動に役立つ実践型語学講座  
(英語、韓国語、中国語)を半年ごとに開講しています。

#### ☆ホストファミリーバンク

ホームステイを希望する外国人を受け入れる  
ホストファミリーとして登録していただきます。  
受け入れは随時行っています。

#### ☆MMF (My Matsuyama Family)

松山在住の留学生にとっての「第2の故郷=松山の家族」を  
つくっていただくための制度です。  
登録者と留学生をMICでマッチングした後は、  
自由に交流できます。

#### ☆外国人オタスケマン

困っている外国人の力になりたい、という方にご登録いただき、  
ご近所感覚で外国人のサポーターとして活躍していただきます。



まつやま国際交流センターは、  
Matsuyama International Centerの頭文字をとって  
「MIC (ミック)」の愛称で親しまれています。  
松山で暮らす人たちが人種・国籍・宗教などにかかわらず、  
仲良く快適に暮らせるよう、さまざまなサービスを行っています。

### ② イベントを通して国際交流を体験してみよう!

#### ☆地球人まつり (1月)

市民と外国人市民の皆さんとの交流を深めてもらおうと、毎年1回開催しています。  
世界各国の遊びや文化、料理などを体験できます。

#### ☆国際交流サロン (随時)

市民と外国人市民とが楽しみながら交流できる  
イベントを随時開催しています。

#### ☆地域での交流活動のサポート (随時)

市民体育祭や秋祭りなど、地域のイベントに  
市民と外国人市民がいっしょに参加し、交流します。



### ③ 外国人市民の皆さんへ

#### ☆窓口相談サービス

外国人市民の皆さんからの相談に応じたり、生活ハンドブックを  
差し上げるなどの生活情報の提供を行っています。

#### ☆外国語としての日本語教室

外国人市民を対象に無料で開講しています。  
託児サービス (無料) もあります。

#### ☆自転車の貸し出し

短期滞在の外国の方に対して、無料で自転車の貸し出しを  
行っています。市内観光をする際などにご利用ください。



国際交流情報が満載の

MICメールニュースを  
週に1回配信しています。

配信希望の方は

informic@dokidoki.ne.jp まで  
メールを送ってください。

財団法人国際交流協会 まつやま国際交流センター発行 2012年10月

お・問・い・合・わ・せ

まつやま国際交流センター (MIC)

〒790-0003 松山市三番町6丁目4-20 コムズ1階

TEL:089-943-2025 FAX:089-931-2041

E-mail: informic@dokidoki.ne.jp

MIC  
Facebookは  
こちら

